

■日時 8月9日(月) ■天候 曇り
 ■球場 明治神宮野球場 第3試合 1回戦
 ■審判 球審:大田 塁審:斉藤 島田 石塚

静岡県立静岡中央高校 対 福岡県立糸島高校
 ■試合時間 2時間30分 ■備考

出場校名	代表地区	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	計	安	失
静岡中央	山静・静岡	2	0	0	2	1	0	0	1	0	1						7	8	2
糸島	福岡	2	0	1	1	0	0	1	0	1	0						6	10	9

静岡中央

	ポジション	氏名	打	得	安	点	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10			
1	捕	芦澤 健悟	5	1	2	0	右安		投飛		三ゴ		遊安		二選				
2	中	繁田 紘輝	4	1	0	0	三振		三振		二失		三ゴ		投犠				
3	三	井上 亮	5	0	1	0	三振		遊ゴ		遊安		投飛		二ゴ				
4	投	田中 貴大	5	3	3	2	右安			投ゴ	遊ゴ				二安		中安		
5	右	小笠原 隆樹	5	1	1	0	三振			左3	遊ゴ				二飛		三振		
6	二	武田 聖衣	3	1	0	1		三ゴ		四球		四球		三ゴ		三振			
7	一	杉浦 大地	4	0	1	1		三飛		左犠		遊飛		中飛		右2			
8	遊	増田 大也	4	0	0	0		四球		二失		二飛			三失	投ゴ			
9	右	竹内 啓介	2	0	0	0		三振		三振									
9	打	古郡 芳紀	1	0	0	0							三振						
9	左投	渡部 浩太郎	1	0	0	0									投ゴ				
合計			39	7	8	4	残塁:7 併殺:0												

備考

■バッテリー

投手
田中 貴大
渡部 浩太郎

捕手
芦澤 健悟

■投手成績

氏名	回数	打者	安打	三振	四球	自責
田中 貴大	7	34	8	10	4	4
渡部 浩太郎	3	12	2	4	1	1

糸島

	ポジション	氏名	打	得	安	点	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10			
1	左	今井 駿也	4	1	1	0	四球	左2		三振		捕飛		四球		左飛			
2	投	波多江 泰士	5	2	2	2	中3	投飛		中本		二ゴ		三ゴ					
3	遊	久野 健	3	2	1	0	一ゴ		死球	左2			死球		右飛				
4	三	波多江 亮太	5	1	3	1	遊失		右安	右飛			左2		左安				
5	捕	野本 一樹	5	0	1	0	捕飛		遊安		三振		三振		三ゴ				
6	中	清水 功太郎	4	0	1	1	三振		投ゴ		死球		三振		中安				
7	一	小柳 和喜	5	0	1	0		左安	投ゴ			三ゴ		三振		三振			
8	二	渡邊 宏紀	5	0	0	0		中飛	二ゴ		三振			三振		二ゴ			
9	右	瀬戸口 達則	5	0	0	0		三振		三振		三振		三振		三振			
合計			41	6	10	4	残塁:10 併殺:0												

備考

■バッテリー

投手
波多江 泰士

捕手
野本 一樹

■投手成績

氏名	回数	打者	安打	三振	四球	自責
波多江 泰士	10	44	8	9	3	2

■戦評

大会第1日目、神宮球場の第3試合、静岡中央と糸島の対戦。先攻の静岡中央は初回、先頭の芦澤が右前打で出塁、二盗、三盗を決め4番田中の右前適時打で1点先制。敵失も絡め2点目を追加。その裏糸島は先頭の今井が四球で出塁し2番波多江亮の適時三塁打で1点を返し、なおも4番波多江亮の打球が敵失を誘い2-2の同点に追いつく。3回裏糸島はこの回先頭3番久野が死球で出塁すると二盗、三盗に成功。捕手の敵失も絡み逆転に成功。4回表静岡中央は5番小笠原が左中間三塁打で出塁しワイルドピッチでかさざつ同点に追いつく。なおも四球の走者が牽制悪送球で一気に三塁に進み、7番杉浦の犠飛で4-3と逆転。その裏糸島は二死から2番波多江亮の打球が左中間を深々と破るランニング本塁打となり再び同点に追いつく。5回表静岡中央は敵失で出塁した走者を内野安打の間に三塁に進め、4番田中の内野ゴロの間にホームを突き逆転。7回裏糸島は死球の走者を4番波多江亮の左翼越適時二塁打で迎え入れ5-5の同点に追いつく。8回表静岡中央は内野安打で出塁した走者が敵失と盗塁で三塁に進み、内野ゴロの間に本塁を突き、引き離しに入る。9回裏後はない糸島は一死から4番波多江亮がこの日3本目となる安打で出塁し内野ゴロの間に二塁へ進み二死二塁。ここでこの日安打のなかった6番清水が起死回生の中前適時打を打ち土壇場で同点に追いつく。ナイター照明のついた10回表静岡中央はこの回先頭4番田中がこの日3本目となる安打で出塁しワイルドピッチで二塁に進む。5番、6番と三振に打ち取られ7番杉浦の初球に三盗を敢行。これが捕手の悪送球を誘い一気にホームイン。その裏糸島の攻撃を8回からリリーフした静岡中央2番手渡部が3人で打ち取りゲームセット。一進一退の息詰まるシーソーゲームを静岡中央が制した。